研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 元 年 9 月 2 日現在

機関番号: 32689

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2016~2018

課題番号: 16 H 0 3 4 5 9

研究課題名(和文)『言語教師のポートフォリオ』【小学校英語教師編】の開発

研究課題名(英文)Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages: Development of J-POSTL

Elementary

研究代表者

神保 尚武 (Jimbo, Hisatake)

早稲田大学・商学学術院・名誉教授

研究者番号:60063781

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文): 「ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ」(2007)にはヨーロッパにおいて研究されてきた言語教育のあらゆる知見が含まれている。我々はこの文書を日本の言語教育環境でも受容できるように翻案化しJ-POSTL(Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages)「言語教師のポートフォリオ」【英語教師教育全編】として2014年に発表した。2016年より「小学校英語指導者のポートフォリオ」(略称 J-POSTL エレメンタリー)の作成に入りその教職課程試用版を2018年8月に発行し2019年3月に現場教員用自己評価を記述するの概算による。 価記述文の難易度レベルを確定した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究は、省察ツールとしてのポートフォリオによって外国語の教育と学習の枠組みを体系化し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に貢献することを目的としている。『小学校英語指導者のポートフォリオ』(略称J-POSTLエレメンタリー)の自己評価記述文草案を2017年8月に作成し、2018年8月にはその「教職課程試用版」を発行した。また、2018年11~12月に全国の小学校教員対象に調査を行い、2019年3月に小学校現職教員用の自己評価記述文の難易度レベルを確定した。草案と教職課程試用版は大学英語教育学会教育問題研究会のホームページに根据している。「POSTI を利用した活用車側集ま作成している -ジに掲載している。J-POSTLを利用した活用事例集も作成している。

研究成果の概要(英文): European Portfolio for Student Teachers of Languages (EPOSTL, 2007) contains a wide spectrum of knowledge about language learning. We have adapted this document into Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages (J-POSTL, 2014) intended for use by student teaches and middle school teachers. From 2016 we have started drawing up Japanese Portfolio for elementary school teachers of languages (J-POSTL Elementary). We have published the trial version of J-POSTL

Elementary in August, 2018. We also have confirmed the self-evaluation descriptors for elementary school teachers in March, 2019. Now we are preparing the full version of J-POSTL Elementaty. Before its publication, we will conduct a nation-wide survey on the feasibility of selected descriptors.

研究分野: 英語教育

キーワード: 省察ツールとしてのポートフォリオの開発 小学校英語指導者のポートフォリオ 主体的・対話的で深い学び

様 式 C-19、F-19-1、Z-19、CK-19(共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究会は、『言語教育履修生のための言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』を 2009 年度に開発した。2010 年度には、J-POSTL の教育現場への文脈化を試みた。2011 年度には現職英語教員のためのポートフォリオ作成に向けての予備調査を行った。 2012 年度には現職英語教員の授業力に関する意識調査を行った。2013 年度には『言語教師のポートフォリオ』の 3 分冊「英語教師教育全編」と「英語教職課程編」と「現職英語教師編」を刊行した。2014 年度にはジャーナル『言語教師教育 Vol.1 No.1(日本語版)と『言語教師教育 Vol.1 No.2(英語版)』を刊行した。2014 年度から年 2 回 (3 月日本語版、8 月英語版)を紙媒体とオンラインで発行を継続し、2019 年 3 月で Vol.6 No.1 となった。

2. 研究の目的

現職英語教員、特に小学校英語教育担当者の授業力に関する記述文を特定し、授業力の目 安を明らかにし、授業を行う能力基準を明確化することである。

3.研究の方法

全国の英語教職課程履修者、現職英語教員、大学の英語教育担当者、教育委員会等へのアンケート調査や聴き取り調査や合同会議の開催、諸外国や国内の先進事例を調査・研究した。

4. 研究成果

2016 年度にはジャーナル『言語教師教育 Vol.3 No.2(英語版)と『言語教師教育 Vol.4No.1(日本語版』を刊行した。J-POSTL 教師教育関連と小学校英語教育関連の論文が多数を占めた。2017 年度には『言語教師教育 Vol.4 No.2 (英語版)と『言語教師教育 Vol.5 No.1(日本語版』を刊行した。同じく J-POSTL 教師教育関連と小学校英語教育関連の論文が多かった。なお、英語科教育のテキスト神保尚武監修『行動志向の英語科教育の基礎と実践』(三修社)を刊行した。2018 年度には『言語教師教育 Vol.5No.2(英語版)と『言語教師教育 Vol.6 No. 1(日本語版)』を刊行した。小学校英語指導者のポートフォリオの開発:教職課程試用版の自己評価記述文について詳述した。なお、小学校英語教育に関して、酒井志延編著『小学校英語の知恵袋』(くろしお出版)を刊行した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計26件)

- 1. <u>米田佐紀子</u>、太田美帆「児童への英語指導・国際交流活動は学生の社会人基礎力をどう養成できたのか」『言語教師教育 Vol.6 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2019, 34-53
- 2. <u>高木亜希子</u>「ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ(EPOSTL)及び言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)に関する研究のレビュー:日本における今後の実践と研究への示唆」『言語教師教育 Vol.6 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2019, 54-73
- 3. <u>久村研、長田恵理</u>、山口高領「小学校英語指導者のポートフォリオの開発:教職課程試用版の自己評価記述文の選定と今後の課題」『言語教師教育 Vol.6 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2019, 74-93
- 4. <u>中山夏恵、栗原文子</u>「学習指導要領の改訂に伴う小学校外国語教育の変化 異文化間能力育成の観点から」『言語教師教育 Vol.6 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2019, 94-112
- 5. 中山夏恵、若松里香、成田潤也、土屋佳賀里「児童の異文化間能力を育む活動事例の提案 移行期用小学校外国語教材『We Can!』を中心に」『言語教師教育 Vol.6 No.1(日本語版)』 大学英語教育学 会教育問題研究会会誌、査読有、2019, 113-128
- 6. <u>吉住香織</u>「Investigating Student Teachers' Reflection on Micro Teaching Using Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages (J-POSTL) 『言語教師教育 Vol.5 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 1-21
- 7. <u>高木亜希子</u>「Trajectory of Learning and Professional Development of an Inexperienced English Teacher: The Teacher's Cognition Based on the Interview Analysis after Lesson Study Meetings」『言語教師教育 Vol.5 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、查読有、2018, 22-49
- 8. 成田潤也「Defining Foreign Language Education at Elementary School The Perspective of Teachers' Potential to Create Lessons 『言語教師教育 Vol.5 No.2(英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 50-69
- 9. 蕨知英「Periodic Speaking Tasks and their Evaluation Utilizing J-POSTL」『言語教師教育 Vol.5 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 70-85
- 10. <u>吉住香織</u>「教職課程履修生の省察と成長に関する考察:模擬授業指導への言語教師のポートフォリオの活用」『言語教師教育 Vol.5 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研

- 究会会誌、査読有、2018, 27-46
- 11. <u>高木亜希子</u>「若手英語教師による学びと成長の軌跡 授業研究協議会後のインタビュー分析に基づく教師の認知」『言語教師教育 Vol.5 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 47-67
- 12. 蕨知英「定期的なスピーキングタスクの実施と J-POSTL を活用したその評価」『言語教師教育 Vol.5 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 68-82
- 13. <u>清田洋一</u>「個人の文化資産としての英語学習 学習ポートフォリオの資料集としての Lap Book の可能性」『言語教師教育 Vol.5 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 83-99
- 14. 成田潤也「小学校外国語教育の定義 小学校教師の授業創造力からの視点」『言語教師教育 Vol.5 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2018, 100-114
- 15. <u>栗原文子、久村研</u>「What Language Educators Can Do with Global Citizenship Education: an Insight from the Survey Results on J-POSTL Self-assessment Descriptors」『言語教師教育 Vol.4 No.2(英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、查読有、2017, 47-58
- 16. <u>米田佐紀子</u>「小学校英語教育実習を通して得られた教員養成課程学生の学びに関する実証的研究」『言語教師教育 Vol.4 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2017, 11-30
- 17. <u>安達理恵</u>「イタリアの CLIL から学ぶ小学校での外国語活動における指導法」『言語教師教育 Vol.4 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2017, 31-42
- 18. 中山夏恵「小学校外国語活動における異文化間能力の育成に関わる指導の現状と課題 Hi, friends!の分析を中心に」『言語教師教育 Vol.4 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2017, 43-58
- 19. <u>栗原文子、久村研</u>「グローバル市民を育む英語教育に関する一考察 J-POSTL 自己評価記述文調査の分析結果から見えた課題」『言語教師教育 Vol.4 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2017, 78-87
- 20. <u>高木亜希子</u>「教師による実践研究:教師の成長のために」『言語教師教育 Vol.4 No.1 (日本語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2017, 88-103
- 21. <u>久村研</u>「Exploring the Transportability of the Rationale and Principles behind J-POSTL to a Japanese Educational Context」『言語教師教育 Vol.3 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016, 1-25
- 22.<u>清田洋一</u>「Encouraging English Teachers' Autonomous Reflection」『言語教師教育 Vol.3 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016, 26-46
- 23. <u>堀晋也</u>「Review of the Theoretical Background of Reflection as a Philosophical Concept: Toward Developing a More Meaningful Paradigm in Japanese Foreign Language Education」『言語教師教育 Vol.3 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、查読有、2016, 47-52
- 24. <u>米田佐紀子</u>「Insights Gained from Self-evaluation on Skills and Knowledge for Pre-service Teacher Education」『言語教師教育 Vol.3 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016, 51-67
- 25. 小出文則「In-service Teacher Training Using J-POSTL」『言語教師教育 Vol.3 No.2 (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016, 68-83
- 26.斎藤理一郎「Using Portfolios to Develop Autonomous Learners」『言語教師教育 Vol.3 No. (英語版)』大学英語教育学会教育問題研究会会誌、査読有、2016,84-53

[学会発表](計37件)

- 1. 神保尚武、久村研、栗原文子「Developing Global Competence through EFL Teaching: An insight from survey results on J-POSTL self-assessment descriptors」International Conference March 2019: Educating the Global Citizen: International Perspectives on Foreign Language Teaching in the Digital Age、ドイツ・ミュンヘン大学、2019年3月27日
- 2. <u>安達理恵</u>「The Effectiveness and Challenges of International Project-based learning at Japanese Primary Schools」International Conference March 2019: Educating the Global Citizen: International Perspectives on Foreign Language Teaching in the Digital Age、ドイツ・ミュンヘン大学、2019 年 3 月 27 日
- 3. 土屋佳賀里「Promoting the Dissemination of Digital Textbooks in Foreign Language Education at Elementary Schools in Japan、International Conference March 2019: Educating the Global Citizen: International Perspectives on Foreign Language Teaching in the Digital Age、ドイツ・ミュンヘン大学、2019 年 3 月 27 日
- 4. <u>山口高領、長田恵理、中山夏恵、久村研</u>「J-POSTL エレメンタリー:全国調査結果の概要と今後の課題」言語教育エキスポ 2019、2019 年 3 月 10 日、早稲田大学
- 5. <u>浅岡千利世、清田洋一、栗原文子、醍醐路子、高木亜希子、久村研</u>「中高現職英語教員プロジェクトの成果 自律学習者を育てる J-POSTL を利用した授業改善の実践事例」言語

- 教育エキスポ 2019、2019 年 3 月 10 日、早稲田大学
- 6. <u>高木亜希子</u>「ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ(EPOSTL)及び言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)に関する研究のレビュー 日本における今後の実践と研究への示唆」言語教育エキスポ 2019、2019 年 3 月 10 日、早稲田大学
- 7. 神保尚武、栗原文子「Action-oriented_Teaching and Learning English『行動志向の英語 科教育の基礎と実践』 CEFR の学習観と新指導要領を踏まえた英語科教育の提案」大学 英語教育学会第 57 回国際大会、2018 年 8 月 30 日、東北学院大学
- 8. 中山夏恵、「小学校において育成すべき異文化間能力の検討 英語指導者対象の意識調査から」大学英語教育学会第57回国際大会、2018年8月30日、東北学院大学
- 9. <u>久村研、長田恵理</u>、成田潤也、阿部志乃、土屋佳賀里「J-POSTL エレメンタリー:『言語教師のポートフォリオ(J- POSTL)』【小学校英語指導者編】の開発 その理念と実践」大学英語教育学会第 57 回国際大会、2018 年 8 月 29 日、東北学院大学
- 10. <u>清田洋一、浅岡千利世、大崎さつき、吉住香織</u>「教職課程における J-POSTL を活用した プロジェクト 英語教師教育の質の向上を目指して」大学英語教育学会第 57 回国際大会、 2018 年 8 月 29 日、東北学院大学
- 11. <u>酒井志延</u>、松延亜紀、竹田里香、長谷川和代「現場教師が抱く小学校英語の疑問に答える」 関東甲信越英語教育学会、第42回栃木研究大会,2018年8月18日~19日、白鷗大学
- 12. <u>酒井志延</u>、土屋佳賀里、阿部志乃「小学生に英文字の適切な手書き指導をするために」関東甲信越英語教育学会、第 42 回栃木研究大会、2018 年 8 月 18 日 ~ 19 日、白鷗大学
- 13. 土屋佳賀里、竹田里香、若松里佳「自己省察ツール『J-POSTL エレメンタリー』の課題と 展望」小学校英語教育学会第 18 回長崎大会、2018 年 7 月 28 日 ~ 29 日、長崎大学
- 14. <u>長田恵理</u>、赤井晴子「文字が示す音の読み方指導の実践 担任、ALT、中学校教員の特徴 を活かして」小学校英語教育学会第 18 回長崎大会、2018 年 7 月 28 日 ~ 29 日、長崎大学
- 15. <u>栗原文子</u>「Japanese Teachers' Perceptions of Developing Inter –cultural Competence in the EFL Classroom」アジア英語教育学会 2018 国際大会、2018 年 6 月 28 日、マカオ大学
- 16. <u>神保尚武、久村研、酒井志延</u>「Japanese Portfolio for Elementary Educators of English: challenges and opportunities」アジア英語教育学会 2018 国際大会、2018 年 6 月 27 日、マカオ大学
- 17. <u>清田洋一、吉住香織「J-POSTL</u> を活用した英語教員養成」青山学院大学英語教育センター・ JACET 関東支部共催講演会、2018 年 4 月 14 日、青山学院大学
- 18. <u>久村研</u>、竹田里香、土屋佳賀里、若松里佳「現場教師の成長を可視化する J-POSTL【小学校英語指導者編】を体験してみよう」言語教育エキスポ 2018、2018 年 3 月 4 日、早稲田大学
- 19. <u>栗原文子、中山夏恵、安達理恵</u>、阿部志乃「言語と異文化への関心を高める小学校外国語教育」言語教育エキスポ 2018、2018 年 3 月 4 日、早稲田大学
- 20. <u>醍醐路子</u>、小出文則、高橋聡「J-POSTL の理念とカリキュラム・マネジメント」言語教育 エキスポ 2018、2018 年 3 月 4 日、早稲田大学
- 21. <u>栗原文子</u>, 細喜朗「高校における異文化理解の授業と異文化間能力育成に関する一考察」 言語教育エキスポ 2018、2018 年 3 月 4 日、早稲田大学
- 22. <u>清田洋一</u>「外国語学習ポートフォリオの理論と実践 自立した個人として世界に向き合う 学び」明治学院大学教養教育センター主催外国語教育研修会、2018 年 2 月 20 日、明治学 院大学
- 23. <u>神保尚武、久村研、酒井志延</u>「Developing J-POSTL for Elementary-school English Language Teacher Education」第 29 回日米教員養成協議会年次大会、2017 年 9 月 15 日、ハワイ大学
- 24. <u>浅岡千利世、栗原文子、中山夏恵、清田洋一</u>「J-POSTL を活用した英語教師教育の方法 成長する英語教師を目指して」大学英語教育学会第 56 回国際大会、2017 年 8 月 30 日、青山学院大学
- 25. <u>久村研、栗原文子、中山夏恵</u>「言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)の有効性 次期学習 指導要領に含まれる諸概念の可視化を目指して」関東甲信越英語教育学会新潟大会、2017 年 8 月 27 日、新潟大学
- 26. <u>清田洋一</u>、鶴田京子「英語学習ポートフォリオの理論と実践 課題解決型プロジェクト学習の試み」全国英語教育学会第43回島根大会、2017年8月20日、島根大学
- 27. <u>久村研</u>「小学校英語指導者の資質能力と外国語教育カリキュラムの指針を求めて」全国英語教育学会第 43 回島根大会、2017 年 8 月 20 日、島根大学
- 28. <u>酒井志延</u>、成田潤也「小学校教育のための外国語教育の在り方についての考察」全国英語 教育学会第43回島根大会、2017年8月19日、島根大学
- 29. <u>栗原文子</u>、三沢渉、残間紀美子「小学校における異文化間能力育成の実践と指導の観点」 全国英語教育学会第 43 回島根大会、2017 年 8 月 20 日、島根大学
- 30. <u>高木亜希子、醍醐路子、浅岡千利世</u>、加藤千博「言語教師の成長ツールである J-POSTL とは何か」言語教育エキスポ 2017、2017 年 3 月 5 日、早稲田大学
- 31. 中山夏恵、土屋佳賀里、金藤明美、宇田川きのみ、若松里香「小学校の英語授業における

児童の異文化間能力を育成する指導の意義と可能性」言語教育エキスポ 2017、2017 年 3 月 5 日、早稲田大学

- 32. <u>神保尚武、久村研「Transporting the rationales behind European language teacher education to a Japanese Context」The 52nd RELC International Conference、2017年3月15日、Regional Language Centre、Singapore</u>
- 33. <u>久村研</u>、<u>酒井志延</u>「Promoting plurilingualism throughout language classrooms in Japan」プレーメン大学シンポジウム 2017、2017 年 2 月 24 日、プレーメン大学、ドイツ
- 34. <u>栗原文子</u>、Amany Habib 「How students' intercultural competence (IC) can be enhanced in a foreign language classroom: A comparison of the US, the EU and Japan」第 28 回日 米教員養成協議会年次大会、2016 年 11 月 6 日、愛媛大学
- 35. 中山夏恵、土屋佳賀里、若松里佳「児童の異文化間能力を促す英語授業の検討 J-POSTL(言語教師のポートフォリオ)の記述文を中心に」第37回日本児童英語教育学会、2016年10月23日、大阪成蹊大学
- 36. <u>神保尚武</u>「Life-long Learning of Languages Reconsidered」大学英語教育学会第 55 回国際大会、2016 年 9 月 1 日、北西学園大学
- 37. <u>清田洋一、酒井志延</u>「教員のための省察ツールについての一考察」全国英語教育学会第 42 回埼玉大会」2016 年 8 月 21 日、独協大学

[図書](計8件)

- 1. <u>神保尚武</u>、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.6 No.1(日本語版)』、 2019 年 3 月、176
- 2. 酒井志延、他『先生のための小学校英語の知恵袋』くろしお出版、2018年7月、238
- 3. <u>神保尚武</u>、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.5 No.2 (英語版)』、 2018 年 8 月、108
- 4. 神保尚武、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.5 No.1(日本語版)』、2018年3月、220
- 5. <u>神保尚武</u>、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.4 No.2 (英語版)』、2017 年 8 月、114
- 6. <u>神保尚武</u>、他、大学英語教育学会教育問題研究会『行動志向の英語科教育の基礎と実践』 三修社、2017 年 11 月、274
- 7. <u>神保尚武</u>、他、大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.4 No.1(日本語版)』、 2017年3月、152
- 8. 大学英語教育学会教育問題研究会『言語教師教育 Vol.3 No.2 (英語版)』、2016 年 8 月、 144

[産業財産権]

出願状況(計件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号: 出原年: 国内外の別:

取得状況(計件)

名称: 発明者: 権利者: 種類: 番号: 取内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/

6.研究組織

(1)研究代表者

神保 尚武(JIMBO, Hisatake)

早稲田大学商学学術院名誉教授

研究者番号: 60063781

(2)研究分担者

久村 研(HISAMURA, Ken)

田園調布学園大学こども未来学部名誉教

授

研究者番号: 30300007

酒井 志延(SAKAI, Shien) 千葉商科大学商経学部教授 研究者番号: 30289780

清田 洋一(KIYOTA, Yoichi) 明星大学教育学部教授 研究者番号: 60513843

山口 高領(YAMAGUCHI, Takane) 立教女学院短期大学専任講師 研究者番号: 60386555

(2)研究協力者

高木 亜希子(TAKAGI, Akiko) 青山学院大学教育人間科学部教授

栗原 文子(KURIHARA, Fumiko) 中央大学商学部教授

中山 夏恵(NAKAYAMA, Natsue) 文京大学教育学部准教授

ヨッフェ レオニード (YOFFE, Leonid) 早稲田大学商学学術院准教授

長田 恵理(OSADA, Eri) 國學院大學人間開発学部准教授

米田 佐紀子(YONEDA, Sakiko) 玉川大学文学部教授

安達 理恵(ADACHI, Rie) 愛知大学地域政策学部准教授

醍醐 路子(DAIGO, Michiko) 青山学院大学非常勤講師

吉住 香織(YOSHIZUMI, Kaori) 神田外語大学准教授

浅岡 千利世(ASAOKA, Chitose) 獨協大学外国語学部教授

今村 洋美 (IMAMURA, Hiromi) 中部大学人間力創成総合教育センター教授

大崎 さつき(OSAKI, Satsuki) 創価大学文学部准教授